

令和6年度 高志中学校1年 「高志学」福井市郷土歴史博物館・養浩館庭園研修

- 1 期 日 10月10日(木)
- 2 場 所 福井市立郷土歴史博物館・養浩館庭園
- 3 参加生徒 85名
- 4 報 告

◆福井市郷土歴史博物館



絶好の秋晴れの中、徒歩で福井市郷土歴史博物館・養浩館庭園へ行きました。福井市郷土歴史博物館は福井の町中にあり、これまでも訪問したことのある生徒が多かったのですが、今回はクラス毎に学芸員さんが1名引率してくださり、詳しい説明をお聞きしながら研修が行われました。

常設展では、洪水時の被害を防ぐ上に敵の防御にも適し、さらに船が橋の下を行き来できる半木半石の実物大九十九橋の橋桁や、戦争や震災を乗り越えて作り上げてきた福井のまちづくりの資料を見ることができ、先史時代以降現代までの福井の歴史について理解を深めることができました。

また企画展「ほとけの姿を読み解く」では、江戸時代や鎌倉時代、室町時代の様々な時代の仏画を鑑賞しました。中でも達磨大師の仏画を見て、私たちの身近にあるだるまの由来となった人物だったことに驚いた様子でした。

◆養浩館庭園

越前松平家の別邸兼庭園であった養浩館では、月が水面に映る位置を計算して設計された「御月見ノ間」や当時の「御風呂」などについての説明を受けました。生徒たちは、学芸員さんのお話を聞きながら当時のお殿様になった気分庭園を眺め、心穏やかな時を過ごしていました。特に、池の水に反射した光が天井でゆらゆらしていた景色に感動していました。



[生徒の感想]

- ・ 城や町の作り方にはちゃんとした理由があることが分かりました。学芸員さんの「福井市は辛い歴史の上に成り立っている」という言葉が印象に残りました。また、福井が何度災害にあっても復興する不死鳥ぶりに驚きました。
- ・ 養浩館庭園では世界中の景色が見られることを知りました。確かに、そのことを教わってから庭園を見渡すと、海や砂浜、山や外国など、一つ一つが世界の一部のように感じられたので良かったです。
- ・ 今回の研修を通して、また新たな福井の発見がありました。この発見をこれからの高志学の学びにつなげていきたいです。